

保存版

コピーの場合神事中の許可  
を得てください  
使用後は社務所へ返却ください

# 住吉神社大祭松明行事 花の筒 当番心得



浮気住吉神社

令和5年1月修正版

12月初旬と下旬に打合せ

買い物当番の分担を行う。ただし、お互いに協力し合う。

## 1月3日～前々日に準備するもの

神饌の餅（氏子総代） ・餅米6升で鏡餅12個を依頼する。 （お弓用白蒸しを1臼ずつから少しずつ取り、どんぶり1杯分ほど取る） ・餅くくりよう細縄（在庫確認のこと）
--

当番

・お弓関係一式…平成16年新調の備品を使用する。
・裵にアイロン

買い物祭礼に関する購入品

・ローソク大1本（30匁）…在庫確認のこと…三野紙店	
・木炭9kg（土佐備長炭が保ちもよく最適である。 ただし、6000円必要 デイワートで購入可）	
・菜種油3合瓶1本：流しの下に置いてある。…念のため氏子総代に確認	
・燈籠用ローソク8灯分…ホーティブキャンドル大1箱12個入り（ガラス容器に入れて使う。）…三野紙店	
・燈芯…1束（在庫が多くあるので確認のこと）	
・提灯用ろうそく3号	
・祝箸	

神饌物…氏子総代が準備する

・焼き鯛・塩（在庫確認のこと…炊事場に袋入りでおいてある） ・大根1・人参2 ・白菜1・昆布（6枚） ・のり（1帖：10枚1組） ・つまみ菓子6種・蜜柑（20個） ・りんご（5個） ・剣先するめ（10枚） ・御神酒（1升）…のし付き ・お茶（200g） ・ちりめんじゃこ（袋入り7個） 祝い箸（20膳）多めに ・洗い米… <b>当番の方で準備</b>	
--	--

来客他用買い物・花の筒当番

・来客用茶菓子… <u>廃止し神饌もので賄う。お下がりを盆に分け、盛りつける</u>	
・昼弁当…盛り合わせ寿司パック入り（税込み5000円程度、ビニル袋をつけてもらう） <b>【3日の松明結いで神事年長に来客数確認こと】</b> <b>令和5年は持ち帰り用として600円27個500mlお茶27本</b>	
例年：招待者（自治会長・農業組合長）+当番3+弓3+宮司1+巫女1+神事中年長2+中老3+氏子総代4 計 <b>令和5年は27名</b>	
・御神酒（紙箱入り300mlビン）…あおき屋に注文する。11本 配達依頼。のしはホームページの資料編「のしのPDFファイル」で印刷 <b>令和5年は300ml御新酒10本</b>	
・オードブル… <b>(パロー)</b> に注文（取り皿お手ふき確認のこと） <small>税込5000円×2皿</small> <b>令和5年は用意しない</b>	

## 1月3日 午前8時集合

的紙貼り付け 弓矢の点検

他の備品の点検…花の筒が使用する道具一式については社務所押入左下に格納してある。

12燈の土器	
御神酒用雄ちよう雌ちようの鉄瓶	
黒盆・黒碗	
弓用とっくり・	
かわらけ	
塩	
洗米用皿	
御簾ミス(脇宮・弁財天)	
本殿御簾	
拝殿幕	
ふさ一式(のぼして入れてある)	
国旗関係2組(鳥居・拝殿用)	
弓用袴(上段中央にあり)	
本殿前中門幕	
餅くくりよう縄と輪	
御供(ゴク) 餅用へぎ板	
拝殿の幕張	

燈籠	
ローソク	
敷きむしろ	
竈(カマド)	
竹編みの簾	
火吹き竹3本の用意	
手松明1本	
木炭9kg(土佐備長炭)	
燈芯の用意(在庫がないか確認のこと)	
提燈(龍青会館にある)	
しゅうし参り使用の手提げ提 灯(神事中・知新連)	

春、秋祭りの後、  
持ち出したものを  
押入へ戻すこと

【1月3日の松明結いについて】

- 場所は住吉神社境内で行なう。(本体づくり・大黒さんづくり共)
  - ①集合時間は8:00とする。
  - ②本体は拝殿前で結い、大黒づくりは仮屋前で行なう。
  - ③大黒のわらのソグリはブルーシートを敷いて行なう。  
(注)今年のわら束は太いので、バラしてソグること。
  - ④本体づくりは、1本ずつor2本同時並行で行なうかは、当日の参加人数を見て判断する。
  - ⑤松明を据える台の位置は、拝殿正面でなく、境内中央とする。台づくりは、本体づくりの進捗を見て行なう。
  - ⑥松明を結った後、台に据える。
- 太鼓卸し  
お寺本堂前に、大祭当日まで仮置きする。
- 護符(牛玉宝印)刷り
- 花の筒当番準備
  - ①花の筒当番心得に沿って機材確認、点検、的紙貼り
  - ②令和5年の松明については、火の出し方を変更する  
で、かまど、炭の用意は必要であるが、竹編みの簾、むしろ、火吹き竹は不要。  
翌年からは従来通りで行なう。
- OBに応援依頼の声掛け

【前日(令和5年は1月13日)の準備について】

- 前日準備は花の筒、総代で行なう。
  - ①集合時間は8:00とする。
  - ②花の筒当番心得に沿って清掃、機材準備、幕張、国旗、提灯、灯籠等飾り付けを行なう。  
一般用玉串は25本準備する。
- 夜の餅くくりは、総代、中老、大祭担当責任者(中老補佐)にて行なう。
  - ①集合時間は19:00とする。
  - ②手順書に従って、12個のもちを5段重ね1つ、3段重ね2つ作り、残り1個をネズミ食い用とする。  
(1月20日の第6回総代会議で確認)

## 大祭前日(夜)

神饌の餅(氏子総代)の縄結びを行う… **担当者が推薦する者が社務所で氏子総代のもと行う**

丸善製菓舗へ餅を取りに行つて夕方6時ころに推薦された者の作業により餅くくりをする。

白蒸しを1臼ずつから少しずつ取り、どんぶり1杯分ほど取る)

**六重餅…1つ 三重餅…2つ** (中老作) 餅くくり用細縄(在庫確認のこと) 氏子総代が用意

前日 花の筒当番

- ・12灯の土器（灯芯：1灯2芯）と竹押さえ（ひご）古い場合とりかえ
- ・御神酒用雄ちょう雌ちょうの鉄瓶2 黒腕1対 黒盆2 幕 提灯の台 炭 等をセッ
- ・とくり、皿、銚子、御神酒乾杯用かわらけ、やかん、鉄瓶、黒腕、盆、等のものを洗う。
- ・御神酒

- ・神社内掃除（本殿・脇宮・弁財天・拝殿・手水舎・境内・屋根・樋）
- ・玉串（宮司：1本1m位・一般用：25本20~30cm）…神社裏の森のものを使用

※当日宮司が大小どちらもごへいを取り付けられる

- ・拝殿の幕張・燈籠のロウソクつけ・国旗2本を鳥居につける（国旗2本を鳥居・拝殿用として取り付ける）

- ・提灯の取り付け
- ・提灯の台、仮屋にムシロ
- ・当番（宿）へ

- ・宿提燈…知新連中・神事中

- ・手揚げ提燈一対づつ…知新連中・神事中

- ・仮屋に軸2本（白鷺の図…右 漁師が鯛を釣る図…左）を掛ける。

※漁師が鯛を釣る掛け軸は重要文化財？のため当日の朝つるす（弓が終われば外す）

模写掛け軸を用意しそれをつるす方法も検討する

- ・敷きむしろ・竈(かまど)・竹編みの簾・火吹き竹3本の用意。

令和5年は火をおこすのみとする

- ・座布団・テーブルの準備（社務所北側廊下にある）

- ・掃除 神社内の本殿・拝殿・弁財天・手水舎・社務所・境内の掃除

（拭き掃除も・木の葉かきも・ガラス拭きも）

本殿、脇宮さん、弁財天にも簾(スダレ)を取り付ける。

屋根の樋の掃除 式典用小太鼓を準備（社務所流しの奥）にある

※龍青会館の掃除と温風ヒーターについては知新連が大祭当日に準備（平成16年1月11日）

知新連年長に毎年確認のこと

宿用提灯と知新連条則を宿へ

### 大祭当日 午前8時集合

・仕事のはじめに神饌ものとり等にて御神酒を注ぐこと。水を入れること。小皿等には洗米と塩を入れる。

・吹き流しの上に櫛を一本ずつ差す

・**拝殿に太鼓（小）を準備**

・コンロに火をおこす。（拝殿火鉢用、社務所火鉢用【ブルーヒーターで代用】火種を残し夜の仮屋用と龍青会館用【知新連が取りに来る】）

・式典始まりの際本殿前灯籠左右に火をつけ、式典が終われば消す。

時刻を知らず…鐘つき（雲蔵寺の鐘をつく）7回

午前8時…御供式 9時…御神饌式【実際は10時前に神饌ものを運ぶ】

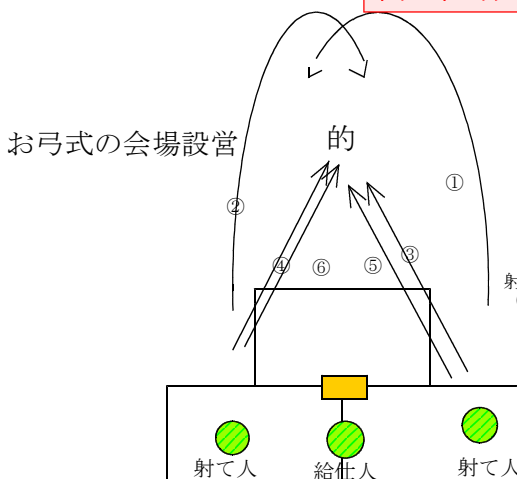
10時…御楽式 11時…御弓式

正午…~~太鼓式~~ 午後1時…~~松明式~~ 5時…出仕式 式典は10時開始で一連の流れに従って行われる。

拝所番（拝殿）に六曲屏風を建てる。 拝殿に太鼓（小）を準備

来客の接待：昼食は寿司（**巻きずしとイナリのパック**）・オードブル

令和5年は持ち帰り寿司600円程度 お茶500ml 御新酒300ml



本殿前での式典が終わった後、干し板にのせた御弓式道具等一式をムシロ3枚の上に置く、併せて、的を設置する。方角は神主さんの指示に従う。

射手の袴一方の肩を脱ぐ（矢の手の方）

1 2 灯の灯芯はお弓式後（正午）に点火する。

松明が納まったら消す。

松明かきが始まる前に鳥居の国旗を外し、片づける。

拝殿の国旗と幕は夜、拝所番が拝殿に向いた後、

外す。…**拝所番が行う。**

手洗いの幕は、終了後外す。餅は当日の夜まで供えておく。

ただし、夜のわらい後下げる（他のことと

重なるので**氏子総代に依頼する**）

祭礼の準備 持ち物（ふんどし、太鼓バイ、日本手ぬぐい、

手松明）火ふき竹はかまどの横へ置いておく

午後 5 時 30 分…火起こし（朝の種火を利用し仮屋

の竈（かまど）へ運ぶ・灯籠の火つけ

暗くなれば …提灯に火つけ（早く付けると 2 時

間用ろうそくのため途中で消える）（午後 6 時）

氏子総代への連絡が取れば暗く

なった時に付け、途中で消えた場合は総代が新しい

ろうそくと取り替えてもらうよう依頼しておく。

暗くなったら…30 匁のつゆに点火（以前：わらい後、

入室直前に点火）

夜の式典が終わり次第宮司より本殿前の灯籠より

火をもらう

…種火仮屋へ火つけ（宮司は本殿の灯明よりロ

ウソクで手松明に点火する…わらい終了後（祭礼後）

宮司は本殿の手前で待機…このことを宮司に朝の

式典後に依頼しておく）過去の方法では神事中が

仮屋へ入ってから火をもらいに行く（手松明で

火が出た後、かまどの火を始末する。（水の入った

1 8 L カンを用意しておき消す。軒下へ出しておく）

本殿・脇宮・弁財天・拝殿・手水舎・境内の点検と

施錠を行う。

【大祭当日（令和 5 年は 1 月 1 4 日）について】

1. 8:00 総代、花の筒当番、中老、大祭担当責任者集合
  - ①準備は総代と花の筒当番で行なう。
  - ②中老と大祭担当責任者で玉串料、献金、献酒の受付を行なう。
2. 10:00 式典
  - ①式典には宮司、巫女、来賓、総代、神事年長、中老、御弓、知新連年長、花の筒当番、他一般参詣者が参列する。
  - ②式典後、総代は弁財天に参り、花の筒当番は御弓式の準備を行なうので、その他の参列者（来賓を除き）に協力いただき神饌物を下げる。
3. 11:00 御弓式  
的を松明の前辺りに置き、射る方角によって東 or 西にむしろを敷く。
4. 御弓式終了後直会
  - ①令和 5 年は新型コロナ対策として、社務所にて総代長挨拶、献杯後散会とし、食事・懇談は省略する。翌年以降は従来通りに行なうこととする。
  - ②令和 5 年の準備としては、盛り合わせ寿司（600 円程度）27 個と 500ml ペットボトル茶 27 本とし、オードブルの手配は無しとする。
  - ③来賓用に 300ml 御神酒 10 本用意する。
  - ④寿司・茶・酒持ち帰り用に手提げビニール袋を準備しておく。
5. 鐘つき
  - 8:00 御供式
  - 9:00 神饌式
  - 10:00 御楽式
  - 11:00 御弓式
  - 12:00 太鼓式（取り止め）
  - 13:00 松明式（取り止め）
  - 14:00 太鼓式（追加）
  - 17:00 出仕式
6. 太鼓練り歩き
  - ①町内を練り歩き、松明寄進者宅に立ち寄る。
  - ②寄進者宅で太鼓を下ろし、台（木杵）に置く。お礼を申し述べた後、太鼓を担いで威勢よく打ち鳴らす。
  - ③寄進者宅での振る舞い酒については、令和 5 年は新型コロナ対策としてご遠慮申し上げることとし、翌年以降はありがたくお受けする。
  - ④花の筒当番は、太鼓宮入り後、鳥居の国旗を外し片づける。
7. 衆し参り
  - ①宿集合は 18:00 とし、18:30 頃出発。
  - ②神社前に整列し、神事、知新連の順に年長者から宮入りする。
  - ③手水舎で清め、太鼓を鳴らし、拝殿前に整列する。
8. 仮屋での儀式
  - ①19:00 に宮司のお祓いを受けた後、神事は仮屋に、知新連は竜青会館に分かれて入る。
  - ②拝殿の幕と国旗は、総代と OB に依頼して取り外す。
  - ③令和 5 年は新型コロナ対策として、祝言の杯（一献～三献）は行わない。翌年以降は従来通りに行なうこととする。
  - ④中老の呼び出しにより、知新連は仮屋に入り、挨拶をして着席。
  - ⑤条則是仮屋番が読み上げることとする。拝所番 1 名、仮屋番 1 名、暁抑え 1 名、見回り役 1 名
9. 松明
  - ①神事は仮屋で、知新連は竜青会館で裸になり、禪姿で仮屋に入る。
  - ②令和 5 年は新型コロナ対策として、一の火の取り合いは行わず、仮屋番の合図により、年配者から順に粛々とかまどの炭火から手松明に火を付け、仮屋から出て松明に点火、太鼓を打ち鳴らす。
  - ③全員が奉火した後、松明を馬場に出す引き松明は行わず、台から東西へ 1 本ずつ引き下ろす。
  - ④太鼓を威勢よく打ち鳴らしながら引く。太鼓は寺の本堂前に仮置き。
  - ⑤松明消火
10. 終了
  - ①仮屋番が、拝所番に挨拶（無事終了たことを報告）する。
  - ②拝所番が、社務所に挨拶（無事終了たことを報告）する。

## 大祭翌日 後始末 **午前8時集合**

- ・酒・餅・するめ・昆布等を社務所に整理する
- ・松明の台（6台）を仮屋へ納める（灰かきの後でも良い）

- ・12灯の土器の油は容器に戻して置く  
（火災予防・土器保護）

- ・各箇所掃除・後始末 写真のとおり
- ・宿提燈と知新連条則を回収する…知新連中・神事中（過去は神事、知新連の宿の提灯については、中老・年長において）

1月10日に後始末をする

- ・状態により袴をクリーニング
- ・賽銭箱を開け中老に渡す。年長に依頼して了承得ればお願いする。

### その他

- ・仮屋の竹用縄を代える事
- ・大祭翌日の後始末の際、酒と餅を宿へ運搬の事
- ・花の筒当番札を先送りする…神事年長

## 招待者

氏子総代に確認 市長 浮気自治会長 岡自治会長 立入自治会長 グラント・メゾン つがやま荘  
JA近江富士支店長 東レファインケミカル(株) 農業組合長 宮司 巫女等約11名程度 中老3名 花筒3名 弓3名 神事中年長2名

## 当番宿

神事屯所 大祭当日宿 ( ) 九日汁宿 社務所  
知新連中屯所 大祭当日宿 ( ) 九日汁宿 自治会館

### 【大祭翌日（令和5年は1月15日）について】

- ①神事、知新連は全員9:00に集合し、灰かき、松明・台の解体、太鼓の片づけを行なう。
- ②総代、花の筒当番は8:00に集合し、片づけを行なう。
- ③神事は13:00に集合し、餅切りをした後、17:00までに餅配りを終わらせるようにする。
- ④夜の反省会は神事・知新連合同とする。場所は社務所とするが、手狭であれば自治会館1階会議室の利用もあり得る。

尚、令和5年は新型コロナ対策として、反省会後の祝宴は省略し、持ち帰り用の弁当とペットボトル茶を準備する。  
（神事会計）

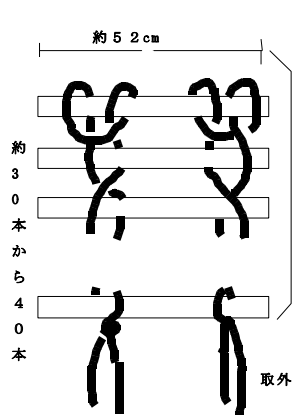
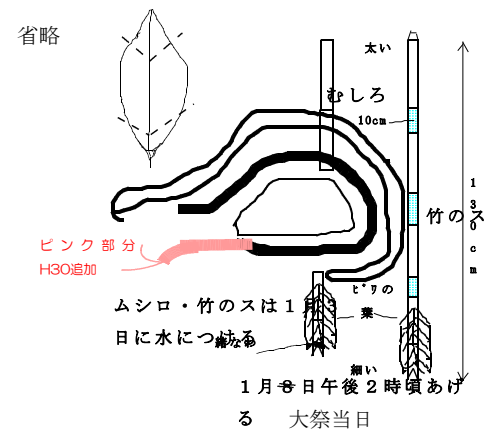
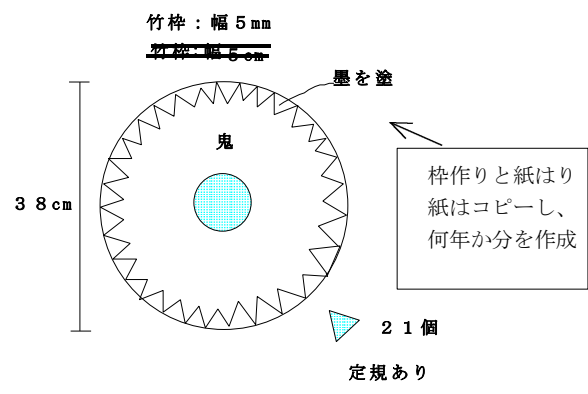
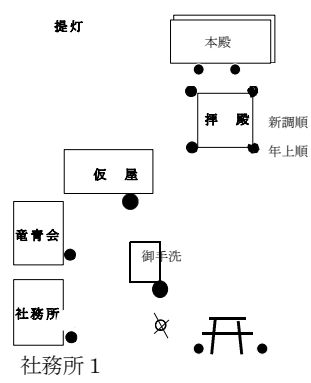
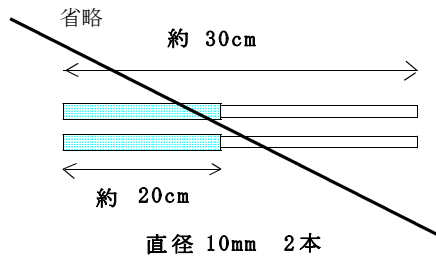
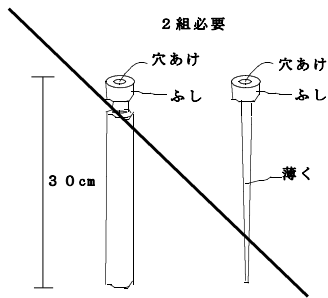
### 【その他】

1. 松明寄進は、1基0万円を止め、1口1万円で募ることとする。

（1軒で複数口の寄進も受け付ける）

寄進札準備の都合もあるので、受付は松明結いまでが望ましい。

2. 令和5年は新型コロナ対策として、松明点火までマスク着用とする。



もう1ひねりしてもよい。ただし、あきすぎる。縄の位置は火があたらないようにかたの外にすると燃えない。

幅によるが45本程度で2m作成する。 H30追加

- 当初作成 平成5年1月佐野兼晴
- 第1回改訂 平成15年3月佐野兼晴
- 第2回改訂 平成16年3月佐野兼晴 佐野重樹 井上敬次
- 第3回改訂 平成24年11月検討委員会
- 第4回改訂 平成26年1月検討委員会
- 第5回改訂 平成29年1月佐野兼晴
- 第6回一部修正 平成30年1月 佐野兼晴
- 第7回一部修正 平成31年1月 佐野兼晴
- 第8回改訂 令和5年1月 佐野兼晴